

公表日

令和7年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 佐倉うすい教室

保護者等数(児童数) 17名

回収数 12件(割合70%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	5	0	0	人数に対して少し狭い気がします。室内広々とスペースあり、動けそうです。	教室のスペースについては、活動によって2部屋使用等検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	3	0	2	少し少ない気がします。	場面によってフォローの職員で対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	0	1	分かりやすくなっていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	2	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	4	0	0	勉強に関しては次のステップに行くペースが少し早すぎるのではと思う事があります。	どんな課題にもスモールstepで進めていくように職員間で共有します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	2	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	細かな点まで具体的に考えて下さり作成してくださっていると思います。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	2	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1	子どもの特性を良く把握して下さっていると思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	2	0	毎月少しずつ違うプログラムが入ってきても良いと思います。季節を取り入れた遊びがあり、工夫されている。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	5	2	他との交流があると嬉しいです。	他に事業所との連携を深め、交流を持てるように進めていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	3	0	0	分かりやすく説明して下さいました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	2	0	0	分かりやすかったです。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	3	3	そういう機会があると嬉しいです。	ペアレント・トレーニング等の概要を職員が深く理解出来る様に進めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	9	2	1	0	画像共有（写真や成績表など）できるようにしていただきたいです。プリントアウトは大変です。	HUGアプリを活用できるように進めていきます。
	16	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	4	0	0	面談で教室での様子や家庭での悩みを聞いていただき、ありがたいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	1	いつもアドバイスを的確に分かりやすく伝えて下さり助かっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	5	1	そういう機会があると嬉しいです。毎年でなくてもいいので以前あった運動会のようなイベントがあると親子とも楽しいなと思います。	運動会のような大規模でなくとも、保護者参加、または参観できるようなイベントを検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	3		電話だけではなくもっと容易にやり取りできると思います。（時間を決めるなど）どなたに相談して良いか分からないので、周知して欲しい。いつも親身になってくれ助かっています。	HUGでやりとりが可能となりました。相談についてはどの職員でも対応していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2	2	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	0	1	デジタルにも対応していただきたいです。Instagramで様子がみられてわかりやすいです。	活動内容や行事予定、連絡帳はデジタルで行ってます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	4	1	0	周知をお願いします。	保護者へ周知できるように面談等活用していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	0	良くできていると思います。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	12	0	0	周知をお願いします。	保護者へ周知できるように面談等を活用していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	1	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	毎日嫌がらず利用できるのは先生方の安心のおかげだと思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	長期休みの支援時間を考え直してほしい。子どもの様子を丁寧に教えて下さりありがたい。ありがとうございます	

公表日

令和7年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 佐倉うすい教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	柵やパーテーションの机を除いた事で確保できた。	教室の使用数を検討していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	フォローに入る等状況の合わせて対応できている。	フォローが必要な場合あり、体制はある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	ホワイトボードにスケジュールを示して分かりやすくなっている。	段差がある。転落してしまう可能性もあるので、改善や、工夫が（柵を作るなど）必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	消毒する等清潔である。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		相談室が制作物置き場になっている。目的外での使用がある為、改善する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	3か月に一度ミーティングを行い目標や現状を再確認する。	個別支援計画の周知と、振り返りの時間の確保が難しい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	面談等で保護者の意向は汲み取っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	事前にミーティングを実施。会議を定期的実施。意見を出し合っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		外部評価を元に今以上の業務改善につなげたい。機関との連携を図る。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	研修を受けられなくてもプリントが配布されている。自閉症や外部の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	チームで話し合い、プログラム作成が行えている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントは適切に行い保護者のニーズをよく聞き、支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管が原案を作成し職員と相談、確認をしながら子どもに合った計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画に沿った支援を行っているが、2か月に1回程度で計画を確認しあう時間が必要。計画を見る機会がない。	再周知していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	標準化したルーツが難しい。	簡略化した物を使用する。またはまとめていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		地域支援連携は出来ていない。他事業所と連携を図る。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。			プログラム作成時にはミーティングを行っている。連携できる様、話し合い時間を設けている。	1人で決めている、偏りがある。プログラムを決める日程を決めて全員で立案する。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定化しないようにサイト等を通して新しいプログラムを取り入れている。プログラムの難易度を変えている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	一日に2回ミーティングを行っている。連携出来る様に話し合いの時間を設けている。	情報共有出来ていないこともあるため、連携して支援を行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	終了後は行っていないが、翌日にミーティングで子どもの様子は話し合い次の支援方法を模索している。	振り返りの時間が設けるのが難しい為、翌日等行うようにする。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録は毎日徹底している。声掛けに内容や具体的な支援方法まで記録出来るが良い。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	2		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	制作では材料を複数用意し、自分で選んで取り組むことができるようにしている。	自己選択ができるように支援を行えるように検討する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		必要に応じて関係機関との会議を行い情報共有できるように進めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		医療機関と連携がとれればもって適切な支援を行えると思う為、ご家族からも情報をいただく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校との情報共有は送迎時に毎日行っている。電話連絡も実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	児童発達支援と共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	該当児童がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	支援センターと連携が出来ていないが研修は設けられている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域交流が行えていない。検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に子どもの様子をお伝えしたり、保護者にお聞きし共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	面談を行い、説明をきちんと行っている。難しいご家族には文書でお伝え同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご家族に相談された場合職員間で情報共有し、必要であれば面談を行い助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6		保護者会があれば交流の幅を広げる事ができる為、検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった場合、管理者が電話対応や自宅に伺って適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	週に一回インスタグラムを使い情報を保護者に発信している。月に一回こぼんだよりを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	インスタグラムはスタンプで顔を隠し名前が入った書類はシュレッダーで破棄。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	連絡帳でのやりとり（ネット）が難しい場合は電話連絡や手紙を配布している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	避難訓練を定期的に行ない子ども達が迅速かつ安全に避難ができるのか確認を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	避難訓練を定期的に行ない子ども達が迅速かつ安全に避難ができるのか確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	事前に服薬の副反応の有無を確認出来るように共有している。てんかん発作についても情報共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		医師の指示書の持参はないが、ご家族に確認をし、対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		研修や訓練があればより支援の幅を広げる事が出来るので、機会を設けていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎月ヒヤリハットを共有することが出来ている。	毎月ヒヤリハットを提出しているが、全員が提出できていない為、徹底が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	ミーティングを職員全体で行い、帽子する事に取り組んでいる。一定期間では毎週虐待防止に会議を実施していた	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	拘束が必要な児童の保護者には、面談の際に伝えて話し合いを行っている。	